

活動プログラム

団体名（ 日本ボーイスカウト岡山連盟

）

1. 事業内容

☐ 子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動
☐ 不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動
☒ 自然体験、生活体験、社会体験に関する活動
☐ 家庭教育支援に関する活動

※複数選択可

2. 活動プログラム名

「	レッツ エンジョイ キャンピング 2024	」
---	-----------------------	---

3. 目 標（ねらい）

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等
キャンパススキル（野外炊事・テント宿泊・地図とコンパス等）と防災スキル（ロープワーク・救急法等）について学ぶことを通して、自分の立場を考えて、相手のために行動することの大切さを知り、家族やスタッフと互いに助け合おうとする気持ちを育てる。

4. 活動計画 ※対象者の活動及び活動実施に向けた研修会等を記載してください。

回	★目標 ・活動内容・対象・参加者人数・スタッフ人数・会場等	◆目指す参加者の姿 （評価方法）
第1回	★プログラムの効果的な実施に向けて、活動の目標や参加者への関わり方について共通理解を図る。 ・活動内容：講師による講話・ワークショップ 会場確認 ・対象：実施当日のスタッフ大人10名スカウト10名程度 ・会場：国立吉備青少年自然の家キャンプ場	◆活動の目標や、キャンプ活動・防災に関する指導の留意点、参加者への関わり方について共通理解することができている。
第2回	★キャンパススキルや防災スキルの学習を通して、自分の立場を考えて、相手のために行動する大切さを知り、互いに助け合おうとする気持ちを育てる。 10月19日～10月20日の1泊2日のキャンプ生活 キャンパススキルと防災スキルの学習 会場 国立吉備青少年自然の家キャンプ場 ・	◆◆自分の立場を考えて、相手のためにコウドウスル大切さを知り、互いに助け合おうとする気持ちをもつことができている。 （初日と事後アンケート）

第 3 回	★アンケートの集計結果の報告 ・	◆アンケート集計
-------------	---------------------	----------

5. 展 開

回 時間	内 容	準備物	留意点	◆目指す参加者の姿 (評価方法)
【第2回】 10月19日 9:30～ 10:00～ 11:30 まで	【導 入】 受付 開会式・オリエンテーション（親・子どもそれぞれのねらいについて説明）・宿泊 テント設営・荷物を運ぶ・寝袋。シーツ受け取り アイスブレイク (じゃんけん大会)	ブルーシート (班別に参加者の荷物置用) 名簿・配布物	参加者同士が和むような雰囲気を作る。	お互いに心を開いて、和やかな雰囲気 で活動し、ねらいについて理解することができている。 (観察)
12:00 13:30 18:00 19:00 20:00 21:30 22:00 6:15 7:15 9:00	昼食（ポリ袋炊飯） 夕食（ハヤシライス） キャンプファイア 入浴（シャワー） 今日の振り返り 就寝 【第2日目の活動】 起床・洗面 清掃 朝食作り（カートンドッグ） 朝食 片付け 防災スキル体験	ポリ袋・鍋 カセットコンロ・米 薪 第1日目の事後アンケート	班別にそれぞれ 個人で体験 ストレッチ後に 鉋の使い方学習 (国少職員) 人間と火の歴史の話 薪組を複数作る・火おこしで 気をつけるポイントの確認 親は安全確認	第1日目の感想を箇条書きに (アンケート) 防災についての認識を深め、自分の立場を考えて、相手の

12 : 00 14 : 00	講義 30 分 実習 ロープワーク 救急法 新聞紙スリッパ 昼食 レストラン アンケート記入 閉会式	防災カード・ ロープ・三角巾 新聞紙・簡易担 架のための竹毛 布	安全対策確認 ・子どもがアンケートに記入する前に、親から子へどのような時に相手のことを考えていたかを伝えてもらうようにする。 ・アンケートは保護者用と子供用に分けておく。	ために行動する大切さを知り、互いに助け合おうとする気持ちをもつことができる。 (行動観察) (アンケート)
	【振り返り】 後日アンケートの集計後に反省評価を行った 評価・改善点について打ち合わせ会をメールで実施した。 評価点 アンケートによれば参加者は防災スキル、炊飯スキルについてほぼ満足している。			

